

お茶の水ニューロサイエンス・セミナー (医歯学総合研究科大学院特別講義)

## 1 分子イメージングと定量解析— 分子からシステムへ —

**演者** 徳永 万喜洋 国立遺伝学研究所 構造遺伝学研究センター 生体高分子研究室  
理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター  
免疫1分子イメージング研究ユニット リーダー

**日時** 2006年10月30日(月) 18:00-20:00

**会場** 東京医科歯科大学 医歯学総合研究棟 2階 講義室 2

### 講演要旨

1分子イメージングで何がわかるか紹介したい。生命現象の理解として、コンピュータ上で生命現象を再現するためには、空間・位置の関数としての定量が必須である。1分子イメージング定量解析は、両者を結びつけることができる。このように、分子イメージング・定量解析により、細胞における生体分子のダイナミックな姿、相互作用、生命現象を定量的に明らかにできる。分子からシステムへと新たな道が開拓されようとしている。

多数の皆様の御来聴をお願い申し上げます。

お茶の水ニューロサイエンスアソシエーション (ONSA)

担当：神経機能形態学分野 寺田純雄 (Tel:03-5803-5149)

ONSA 事務局：脳神経病態学分野内

E-mail:onsa.nuro@tmd.ac.jp Tel:5803-5233、Fax:5803-0134

共催：東京医科歯科大学 21世紀 COE「脳の機能統合とその失調」